

問題

◎以下の設問のすべてに解答してください。解答の順序は問いません。

- (1) 19世紀において、「ドイツ」のなかで「オーストリア」はどのような位置を占めていたか、歴史的に説明しなさい。
- (2) オスマン帝国から19世紀に独立あるいは独立に近い地位を得たバルカン半島諸国の議会政治について説明しなさい。
- (3) 19世紀後半から20世紀初頭のロシア帝国の民族構成上の特徴と民主化の状況について、同時代のハプスブルク帝国とオスマン帝国と比較をしながら説明しなさい。

講評

講義中に説明した通り、講義資料をよく復習しておけば十分に良い答案が書ける設問である。同時に、これも「試験対策」述べたことだが、講義資料の復習こそ、この試験のための最善の対策である。あとはきちんと試験勉強をするか否か。実際、答案はそのような基準で出来不出来が二分されていたと言ってよい。

(1)については、ドイツ統一過程を記した答案がかなりあった。ドイツ統一のプロセスについて述べよ、という試験問題ならばそれでいいだろうが、本問題はそれを問うてはいない。まずは、少なくとも1850年代末あるいは60年代初めまでは「ドイツ」の中心は「オーストリア」であったという点にふれる必要がある。なぜ「オーストリア」とかっこ付きで書くかと言えば、まさにその点こそが重要だからである。オーストリアの国家性あるいは政治秩序としてのあり方は変化している。それを書かなければいけない。

(2)については、個別の国ごとの説明もしたが、それを細かく書いてはまとまりに欠ける。端的におおよそ共通している側面を述べるのが良い。議会のあり方から述べるならばまずは立憲主義、君主の特徴、議会と君主との関係、議会内の議員や政党のあり方（組織）、議会と社会の関係など。これらはすべて授業で説明し、講義資料にもはっきりと記されている。

(3)については、中心はロシア帝国である。三帝国を並列的に書いてはいけない。ロシア帝国の民族構成の特徴と民主化の状況を他の二帝国と比較することが求められている。

「比較」とは共通点と相違点を挙げることから始まる知的作業である。並列的あるいは羅列の答案がかなり見られた。

以上